

日南市シルバー人材センター



会報

さぼてん

第53号

花言葉に「枯れない愛」「偉大」「秘められた熱意」「温かい心」などがある。

令和元年7月30日発行

早期水稲の稲穂が黄金色に

～7月の日南地方の水田～



春先に早期水稲の苗運び
シルバー会員が農作業に一役

田んぼ一面、黄金色に輝く美しい稲穂。あとは「稲刈り」といった作業にイメージが先行しがちだが、美味しいコメ作りには、手の込んださまざまな技法やプロセスを抜きには語れないだろう。シルバー会員が早期水稲の苗づくりをしているドリームランドはまゆうで苗の引渡し作業に携わったのは、春先のこと。単なる苗運びという単純作業だったとはいえ、“食の命”を預かる大事な仕事。苗を痛めないよう、まだ見ぬ稲穂の姿を想像しながら気高く作業に携わったことは、食文化の一端を担う一種の誇りとなって会員らの心に宿っている。

7月、黄金色に輝く美しい稲穂を見ながら「命につながった」と、ある会員が感慨深げに語ったのが印象的だった。



美味しいコメ作りには、プロセスの一つひとつが大事な作業。苗運びにも自然と熱が入る。



ハウスの周りには農家の軽トラックが長蛇の列も

ハウス内は苗でぎっしり



この時期、ドリームランドはまゆう(向田)で育てられた早期水稲の苗を農家の人たちに引渡すもので、ハウス内外で大勢のシルバー会員が農作業に携わった。

シルバー人材センターは、国・県・市の協力を得て運営されている公益目的事業を行う団体です。

令和の時代 決意を新たに
日南市シルバー人材センター

平成31年度の定時総会

日南市シルバー人材センターの平成三十一年度定時総会は五月三十一日、南郷ハートフルセターで開かれた。会員205人(委任状含む)が出席。会員らの労働成果を示す事業実績が1億3452万

地域創生の担い手へ



円とわずかながらアップしたことや、令和新時代の事業計画、予算案など上程議案を満場一致で承認した。

総会の冒頭、物故者三人の冥福を祈って黙とうを捧げたあと、谷口孝雄理事長は最近の社会情勢に触れ「当センターの果たす役割は大きく、今後も発注者のニーズに応えられるよう質の向上、技能の習得に力を入れなければならぬ」と挨拶。来賓祝辞の市長代理・田中利郎副市長、議

長代理・前田幸雄副議長もシルバー事業に賛同して会員らにエールを送った。

新年度は、地域の人手不足が目立つ企業への就労支援策として派遣事業の見直しや受託事業の充実、会員の拡大、適正就業では刈払い機による事故発生件数が増加の傾向にあるため、その防止対策なども確認した。

会員表彰では、会員歴10年の功労者21人、会員互助会の総会では80歳青春式表彰があり、今なお第一線で活躍する11人が表彰された。

事業実績:1億3452万円で、
わずかに増加の傾向
安全・適正就業:賠償事故10件
傷害事故1件で増加の傾向
会員数:年度末で285人と前年度
とほぼ同じ推移

谷口理事長 続投
3期目へ意欲的



定時総会後の理事会で承認され、3期目の理事長へ。2期4年間の実績があり、令和の新時代に更に辣腕を振るう。シルバー事業のあり方やイメージアップに手腕が期待される。

あいにくの雨の中



今年も綿菓子販売
(3月10日)



会場となった総合運動公園は、朝から雨に見舞われ、屋外の協賛ブースは、どこもひっそり。シルバー人材センターも例年同様テントを張ったものの、傘をさす来場者はまばらで、屋内のイベント会場へ向かうお客を呼び込むのが精いっぱいだった。

日南市福祉のまちづくり
応援フェスティバル「2019」

樹木の剪定作業
猛暑の中、汗だく



歴史的建造物が建ち並ぶ飢肥地区の一画「旧梅村医院」跡での剪定作業は、経験豊富なシルバー会員ら五人が従事。5月だというのに30度を超える猛暑の中、汗だくで作業に当たっていた(写真)。

当センター管内は、下刈り作業同様、剪定の受注件数も極めて多い。ただし作業員となると、作業会員の高齢化や後継者不足で作業の流れに支障をきたすこともしばしば。技能継承者育成に努めているものの、ま新規就労者の拡大をめざす

だ途上。そこで新たに人材を発掘し、動きも活発化、緊急課題としている。

防災講演会

シルバー教養講座

「地震、津波に備え、防災意識を」

市防災専門官 永井さんが熱弁を振るう

地震と津波が危惧される中、少しでも防災意識を深めてもらおうと日南市シルバー人材センター集会所で防災講演会があり、市の防災専門官永井義広さんの講話をシルバー会員七十人が受講し、熱心に耳を傾けた。

永井さんは国の地域防災マネージャーの資格も持ち、市危機管理室で防災に関する講演会活動を各地で展開している。講演会は今回でちょうど百回目というから、その献身的な活動ぶりは驚くほど。

永井さんは、いつ起こるか分からない災害に備え、どう対応したらいいのか、いま真剣に考える段階に入ってきていると警告する。

八年前、東北地方で起こった東日本大震災「3・11」の悪夢は、まだ記憶に新しいところ。最近の災害状況をみても昨年の北海道地震や西日本の豪雨災害、その前の熊本地震など、いくつもの災害が日本列島を襲っている。

特に注目されているのが南海トラ



日南市の東、太平洋沖で引き起こされる巨大地震(南海トラフ地震)により津波が発生するという



東日本大震災での津波襲来の模様



災害時の心構えなどを講話する永井さん(3月30日)

フ地震。海底のプレートの歪みにより引き起こされるといわれ、そのパワーは巨大。震災の被害が予想され、災害時の備えを過去の教訓から詳しく解説した。

災害となると、とかくパニック状態に陥りやすいもの。そこで冷静に情報を把握し、リスクがどこにあるのか、平常心を保ちながら行動することが大切だとアドバイス。地震では家具類が倒れ、出口がふさがれるケースもあるため、家具類の転倒防止策、津波の際は直ちに高台へ避難しなければならぬので避難ルートの確認。また電気やガス、水道、通信などライフラインがストップする場合もあり、非常持ち出し品のチェックから二三日分の食料品の備蓄なども見過ごしてはならないとも。災害時のトイレについては、ビ

ニール袋と凝固剤を携帯しておけば簡易トイレにもなって急場をしのぐことができる。身を守るための緊急時の備えを呼びかけた。

スクリーンを使い図解しながらの講話で、会員らはメモを取ったり真剣な表情。特に東日本大震災での津波の衝撃的な映像が映し出されると、その襲来の物凄さに思わず悲鳴を上げる人も。

会員の一人は「子供や高齢者が足手まといにならないよう、防災意識を新たにしなければ」と気を引き締めていた。



空き家・空き地管理 只今巡回訪問実施中

空き家の状態が不安に感じたことはありませんか？

シルバー会員が空き家を訪問し、現状確認を行っています。外壁、ガラス破損の状況から庭木、草の繁茂、不法投棄の状況、また郵便物の確認まで徹底的に調査。台風など災害時には目視点検も行い、危険を伴う作業がある場合は専門業者に依頼して対応、報告書に現状写真を添付するなど万全を期してします。

その他、部屋の空気を入れ替える換気プランなどもあり、空き家管理を依頼したい方は当センターへご連絡ください。



日南市は、津波に備えて避難路の掲示板をいたるところに設置、避難誘導ルートを喚起している。



公益社団法人
日南市シルバー人材センター
皆様のお仕事を豊富な経験と知識を
もつシルバー会員がお手伝いします。

人手不足の対応策
シルバー人材の活用を

こんな時は、
シルバー人材センターに
ご相談ください。

- 新たに人を雇うほどではないが、臨時的、短期的な仕事で高齢者にも出来ると考えられるとき。
- 専門業者に頼むほどではなく、高齢者の経験や技能を活かして出来る仕事があると思われるとき。
- 気軽に安心して頼める家事などのお手伝いが欲しいとき。

どんなに小さい仕事でも結構です
ので、お気軽にセンターにご相談
ください。会員の中から適任者を
抽出し、确实、丁寧に対応します。

お電話を頂きますと、仕事の内容(方法、場所、期間、時間、人数等)及び代金等について打ち合わせし、請負、委任などの形式により契約させていただきます。

～シルバーで仕事をしたい方～

会員募集

- 60歳以上で健康で働く意欲のある方(男女)
- 入会説明会を受け、趣旨に賛同した方

〔入会説明会〕
8月21日(水)
9月24日(火)
10月21日(月)
午後1時半から
当センターで

会員になると、働く(作業)こと以外に、遊ぶこと(グラウンドゴルフ大会、旅行等)、また学ぶこと(講習会、講演会等)などもあり、生涯学習的な側面も兼ね備え、楽しく有意義な日々を送ることができます。

会員歴20年の水元久美子さん
総会では80歳記念表彰も



ノート工場で作業する水元さん

「高齢者が伸び伸びと働けるのがいい」と水元さん。総会の席上、80歳になった記念に11人の会員が表彰されたが、その中のひとり。しかも会員歴二十年といえ、女性陣の中でも最長。草取りから工場内での作業まで依頼された仕事は何でもこなす。信望が厚く、仲間も多い。健康が自慢という。小松山班の班長。

公益社団法人

日南市シルバー人材センター

〒887-0033 日南市大字平山2322
TEL:0987-22-3707 FAX:0987-23-2910

平成31年3月をもちまして南郷老人福祉館が閉館になりました。それに伴い南郷支部は閉鎖の運びとなりました。ご了承ください。
なお、南郷地区の通常業務は日南の事務所で行っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



会員数

(令和元年6月末現在)

男性	184人
女性	90人
合計	274人